

# 大学版画研究会 会報

# 14

## 1985.9

The Committee of Universities of Art for Print Studies in JAPAN

先般、臨時教育審議会から美術家連盟に美術大学に関する答申があったので、美術大学に版画科設置の要望を提出しておいた。その後いろいろな場所からの情報を集めて見ると、内容の整備によって21世紀への教育体系を作り出してゆこうと言うより、入試制度の変行、6・3制の変行と言った外形的で一般受けしそうな政治的ショーでしかないように思えて、教育臨審にすっかり失望している。あえて制度の変行と書いたのはそれが改革で無く、あまりに表皮に過ぎるからである。

1970年代学生運動が盛であった頃は、ひとつの教育の反省期であった。古い教育制度や教育体系の中に新しい時代の要望が入りきらなくなっと思われる。古典的な学問の体系と、新しい時代を取り込んで常にクリエートして行く部分とが、教育の体系と制度の中になければならない。

文部省が、「教育とは先人の残した文化遺産の継承である」と言っていたものに、継承と共に「創造」を入れるのがやっと昭和40年代である。「制度は常に時代を追認するに過ぎない」と言うのは真理である。

多摩美術大学に私が行った16年前は版画の学生が5~6名であった。今、大学院まで80名の学生が版画を専攻している。女子美術大学も版画科が出来、毎年20名が入学しているので、約80名の版画専攻が居ることになる。東京芸大、造形大、日大、京都芸大、それに新しい版画専攻の準備が出来つつある武蔵野美大を加えると総計300名ほどの版画専攻の学生が居て毎年120~30名の卒業生が出るのではないかと考えられる。

近年、日本版画協会では地方からの入選者が少なく、受賞者の大半が美術学校出であることが問題になった。版画専攻の美大生が15、6年の内にこれだけ増えたのだから、当然のことである。若い人達の

作品水準の急速な高まりから見ても、むしろわれわれの努力を賞賛されなければならない。版画協会創成期に先輩が熱望した時代を今、大学版画研究会は実現しつつあると自負せざるを得ない。

版画グランプリ展、版画大賞展、期待の新人作家展等、現在行なわれている各種の版画公募展の入選者名簿を見ると、8割から9割が美術大学ないしは、美術関係の学校の卒業生である。

日本版画協会の1956年、24回展では会員87名中、美術学校出は7~8名に過ぎないが、現在、139名の会員中、美術学校系出身者が半数に近づきつつあり、準会員の比率はもっと高いはずである。出品者は他の公募展に見られる通りであり、油絵以上に技術的要素が大きいものだから当然のことであるかも知れない。その変化と共に、24回展に87名会員中、木版、76名 銅版 8名 孔版 2名 石版 1名が、53回展現在、会員139名中、木版59名、銅版47名、石版20名、孔版13名と版種も多様化している。かつて、独学、又は先輩に付いて習ったものが、充実した設備と明確な指導によって高率良く習学されている。年々増え続けるこの若い才能の蓄積が世界に知られた日本の浮世絵を越える時代を作るだろうと期待するのである。

日本版画協会が公募を国内から国内外に切り変えた今年国内出品者に追る国外出品者のあったことは、いかに、日本の版画の評価が高いかを裏付けるものであった。

これ等を勘案して見ると、版画教育の重要さは時代の要求であり、版画科と言う制度によって時代の追認をする時期は近いように思われる。大学版画研究会はその時の為にも調査、研究を充分にし、21世紀に答える版画教育の場を作り上げねばならないと考える。

大学版画研究会が昭和49年11月に発足して丸12年になります。そして初代会長駒井哲郎先生が逝って10年、その追悼展、銀杏樹展もこの6月に開かれました。

女子美術大学版画科は今年の4月で10年目をむかえました。美術大学の中に古くて新しい分野の版画科を開設することは、従来とは違った方法論を模索することに意義を見い出さなければならぬにもかかわらず試行錯誤の日々でありました。しかしながら85年の伝統を持つ女子美術大学に於いて突然他に先がけて版画科が開設出来たこと自体、当事者にとっても驚きでありました。その原動力は、古き伝統の中にあつて新しさを求める女子美術大学の校風と共に、大学版画研究会の存在も無視することはできません。版画科設置促進協議会(仮称)のもとに大学の版画関係者が集まり、そこで最初に進めた事は、各大学の版画教育(設備を含めた)実情調査と、第一次カリキュラム私案の作成であった。

版画科開設に当り、カリキュラム私案と大学教育における版画の位置づけが大学執行部を動かす大きな力となった。今後予想される各大学における版画科開設とその問題点、具体的に実践的な第二次カリキュラム私案の検討にむけて、女子美術大学における開設の経過と実際上の諸問題等、資料を添えて報告する次第です。

### 一、開設までの経過

- (1) 版画としての授業は駒井、女屋両先生による試験的導入に始まり、学部、短大の油絵学生の集中講義、49年度よりの3、4年次版画コース(版画を卒業制作として認める)の実施。
- (2) 学部と短大との関係。大学事情として短大定員を減らし学部定員を増す方針。
- (3) 版画工房、設備の統合化、共通版画の取り扱い。
- (4) ビジョン委員会による検討。カリキュラム私案+女子美カリキュラム、研究会の資料提出。募集方法の検討(学部、短大の3年編入による定員確保)入学定員、その場合版画、油絵相互の希望者より選抜、版画コース、油絵コースに分けて選択等。
- (5) ビジョン委員会の決定、50年7月理事会の決定、10月専任教員1名の確保。

### 二、学生定員

入学定員20名、会計80名、3年次よりの編入者若干名(但し欠員が生じた場合)。内わけは推薦入学者4名(付属高校)、入学試験選抜者16名。初年度受験者数61名、60年度52名、平均競争率約3倍前後。

### 三、入学者選抜方法

- (1) 洋画希望者は版画コース、油絵コースの希望を明記する。
- (2) 入試は洋画として一括して実施する。
- (3) 可否判定は、版画、洋画別に行ない成績上位の者から合格とする。
- (4) 採点は洋画全体で行なう。但し版画コースは版画担当者の意見を尊重する。
- (5) 入試問題、51年～58年まで、学科全学共通一國語、外國語、社会、実技一鉛筆デッサン、油彩又は水彩による静物、59年度より、学科全学共通一國語、外國語、実技一油彩又は水彩による人物。

### 四、卒業必修科目及び単位数

カリキュラム作成上の源となり必修科目68単位と選抜科目8単位の合計76単位。(一般科目を除く)

資料1参照。

### 五、教員定員

洋画専攻の定員枠として学内で位置づけられる。版画コース、専任教員2名(洋画10名の内、版画2名)。助手2名(洋画6名の内版画2名)。他に非常勤講師若干名。

### 六、工房及び設備

- (1) デッサン室、112㎡、1、2年次40名。共通版画工房、123㎡、20～40名。専攻版画工房、226㎡、3、4年次40名。
- (2) 設備、初年度より四年間は年度別購入計画により大学共通維持費により購入。5年目より独立採算(洋画とも別会計)による版画予算枠で購入。60年度設備費分約110万円。設備内容についてはアンケート参照。

### 七、実習費、その他

実習費は年間1人当たり約5万円、科目別維持費120万円、共通維持費53万円、が研究室に割り当てられる。学生数80名が実習費、維持費とも独立採算ができる最小人数と考えられる。(60年度予算)資料2参照。

### 八、カリキュラムについて

カリキュラムについて問題となる点は、1～4年間を通しての版画教育と、3、4年版画コースとの違いにつきると考えられます。カリキュラム私案の基本点は1、2年の基礎教育課程で、この場合内容に応じて油絵科と提携して実技を行ない、3、4年の専門教育課程とから成り立っている。

女子美大のカリキュラムは、この私案を基に考えながら年度毎の反省と検討を重ねて、今日に至っている。60年度女子美版画カリキュラム参照。

大きな相違点は、油絵科との提携は一切行なわず、版画科スタッフの中に版画以外の専門教育者も加えて油彩、その他の基礎実技を行なっている点である。

1～4年間の版画教育の場合は、卒業制作まで一貫した教育が出来る長所と、それによって起こる戸惑いとが常に存在する。基礎造形実技から専門版画実技へのスムーズな移行をさせること、基礎版画、素描、油絵の実習から、版画制作への困惑の問題、油絵そのもの実習と、それによって養われた能力と版画とのつながり方、課題提示(主に物を見て描くこと)による実習から自由課題(例えば見ないで創ること)による制作、これらの解決策の一つとしては、カリキュラムでは3、4年次において例えば描画主体ながら、自由な発想を想起できるモチーフ、素材の検討、描写訓練によって養われた能力を生かし、見て描くことだけにこだわらない方法などを個人面談方式による話し合いの中で行なっている。

### 九、今後の形体、カリキュラムなど

今後の形体として従来の方針をふまえながら三つの形を考えている。

- (1) 版画創作教育一版画家、教育者などの養成。
- (2) 共通版画一表現としての版形式による実習、版画プロパー以外の版体験。
- (3) 版画応用、造本、修復、技術、素材研究一プリンター、造本家、修復家の養成。

カリキュラムを考える上で常に頭を過ぎる問題として、もっと広く絵画科としての共通実技でとらえるべきか、逆に版画科として徹底したカリキュラム(油絵の実習は必要か)が良いのかなど検討をせまられる。研究会としての第2次カリキュラム私案が待たれる。

○必修68+選択8=76単位

▲資料 1

必修科目	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
洋画専攻(版画)	*版(3) 画(5) *版(イ)ノゾ構成をきむ(3) 彩(2) *油(4) 彩(1) *美術解剖学史(イ)(4) 彩(4)	*版(4) 画(4) *版(イ)ノゾ構成と各(4) 彩(2) *油(水) 彩(1) *彫(水) 彩(2) *西洋美術史(イ)(4) 彩(4)	*版(9) 画(9) *彫(3) 彩(2) *美術材料研究(イ)(4) 彩(4) *美術又は学(学) (4)	*版(7) 画(7) *彫(1) 彩(1) *卒業制作(8) 彩(8)
選択科目	*色書 彩(4) 学(4) 道(2)	*日本美術史(イ)(4) 彩(4) *日本美術史(イ)(4) 彩(4) *西洋美術史(イ)(4) 彩(4)	*美術解剖学(イ)(4) 彩(4) *日本美術史(イ)(4) 彩(4) *日本美術史(イ)(4) 彩(4) *近代版工書(イ)(4) 彩(4) *版工書(イ)(4) 彩(4)	*色(4) 彩(4) 学(4) *西洋美術史(イ)(4) 彩(4) *東洋美術史(イ)(4) 彩(4) *西洋制イ道(2) 彩(2)
専攻(版画)	*版(3) 画(5) *版(イ)ノゾ構成をきむ(3) 彩(2) *油(4) 彩(1) *美術解剖学史(イ)(4) 彩(4)	*版(4) 画(4) *版(イ)ノゾ構成と各(4) 彩(2) *油(水) 彩(1) *彫(水) 彩(2) *西洋美術史(イ)(4) 彩(4)	*版(9) 画(9) *彫(3) 彩(2) *美術材料研究(イ)(4) 彩(4) *美術又は学(学) (4)	*版(7) 画(7) *彫(1) 彩(1) *卒業制作(8) 彩(8)

必修科目	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次
洋画専攻(油絵)	*油(5) 彩(5) *水(1) 彩(1) *本初学史(イ)(4) 彩(4)	*油(3) 彩(3) *水(4) 彩(1) *版(1) 画(1) *彫(1) 画(1) *西洋美術史(イ)(4) 彩(4)	*油(10) 彩(10) *彫(2) 彩(2) *美術又は学(学) (4)	*油(8) 彩(8)
選択科目	*色書 彩(4) 学(4) 道(2)	*日本美術史(イ)(4) 彩(4) *日本美術史(イ)(4) 彩(4)	*美術解剖学(イ)(4) 彩(4) *日本美術史(イ)(4) 彩(4) *日本美術史(イ)(4) 彩(4) *近代版工書(イ)(4) 彩(4) *版工書(イ)(4) 彩(4)	*色(4) 彩(4) 学(4) *西洋美術史(イ)(4) 彩(4) *東洋美術史(イ)(4) 彩(4) *西洋制イ道(2) 彩(2)
専攻(油絵)	*油(5) 彩(5) *水(1) 彩(1) *本初学史(イ)(4) 彩(4)	*油(3) 彩(3) *水(4) 彩(1) *版(1) 画(1) *彫(1) 画(1) *西洋美術史(イ)(4) 彩(4)	*油(10) 彩(10) *彫(2) 彩(2) *美術又は学(学) (4)	*油(8) 彩(8)

▲資料 2

58年度	入学時にそろえる道具	支給用具・材料	紙	集中講義	各自で用意するもの	
1年	ビュロン (No.5) 1本 ニトロセルロース付ペンシヤマー 1本 油砥石 1個 ヤスリ 1個 60cm金風定規 1本 カッターナイフ・筆 1本	ターアトグラフ 1本 エボシジ 1個 寒冷紗 1個 ヨムローラ 1個 イソク (F66) 1巻2m	寒冷紗 5巻 10m ヨムローラ 1本 1缶 イソク (F66) 5個 ターアトグラフ 5本 エボシジ 5個 シルク 5個 木版 1個	厚口 上質紙 (無料) 薄口 上質紙 (無料)	板口木版 板口木版 木版用紙 (美費集金)	セロテーア ガムテーア ビニール
2年	上記必修	ターアトグラフ 1本 エボシジ 1個 寒冷紗 1巻2m 上記以外は各自購入	ターアトグラフ 1本 エボシジ 1個 寒冷紗 1巻2m ヨムローラ 1個 イソク (F66) 1巻2m	板口木版 板口木版 木版用紙 (美費集金)	セロテーア ガムテーア ビニール	
3年	上記必修	ターアトグラフ 5本 エボシジ 5個 シルク 5個 木版 1個	寒冷紗 6巻 12m ヨムローラ 1本 2缶 イソク (F66) 6本 ターアトグラフ 5本 エボシジ 5個 シルク 5個 木版 1個	板口木版 板口木版 木版用紙 (美費集金)	セロテーア ガムテーア ビニール	
4年	上記必修 8,000~10,000円	ターアトグラフ 5本 エボシジ 5個 シルク 5個 木版 1個	寒冷紗 6巻 12m ヨムローラ 1本 2缶 イソク (F66) 6本 ターアトグラフ 5本 エボシジ 5個 シルク 5個 木版 1個	板口木版 板口木版 木版用紙 (美費集金)	セロテーア ガムテーア ビニール	

【その他】SS8.4  
 ビニール 1m 70円  
 ターアトグラフ 1m 400円  
 エボシジ 1m 250円  
 シルク 1m 1,780円  
 ヨムローラ 1m 380円  
 イソク 1枚

☆これは時価ですので変更もあります。

●3、4年シルク専攻  
 白、メジマは各自購入すること。

大学版画研究会は、日本の美術大学に版画教育の進歩発展をはかることを目的とし昭和49年7月8日に初会合、11月3日に発足し10年が経過した。昭和59年12月3日 第3回臨時総会が、美術会館会議室にて開かれた折に、各大学における版画教育現状調査の作業が検討され、昭和60年5月25日 第1回臨時総会では（東京文化会館会議室）、大学版画教育の現状と今後のあり方について概要が討議された。

先般それに基づき、参加校（専門学校を含む）63校に教育課程、カリキュラム、受講学生数、教員数、及び施設状況等に対し、アンケート方式による調査を行ったところ、32校より回答を得た。各校の教育機構、形体の違いにより、一概に画一化することは困難であり、カリキュラムにおいても全体を一覧することは難かし

く、また、受講学生数においても流動的である。

研究会が発足時に第1回の同調査を行なってから、10年を経た後に再調査の結果、除々にではあるが現代の美術における版画教育の必要性が認識され、施設状況においても拡充しつつ有り、質的向上へと前進している様に思える。

回答校中、版画科を設置しているのは女子美術大学、大学院に版画専攻を設置しているのは東京芸術大学、多摩美術大学、京都市立芸術大学、筑波大学である。この調査により、幾つかの問題点を今後指摘されると思うが、各大学の詳細な資料の御協力に対し、誌面を拝借して感謝の意を表します。

今後、各大学でのカリキュラム作成、設備等の検討材料として、参考になればと思う所以です。

東京芸術大学

〒110 台東区上野公園内12-8 TEL.03-828-6111

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	受講者数	
	合評会(研究室全学生) 夏季休業 7/15~8/31 四芸祭													
版画コース	ガイダンス4/11 古美術研究AB 4/18~5/18	木版 5/20 6/8	石版 8/22	銅版 24~7/6	孔版 7/8~20	素	芸	写真 製版実習	専攻版種による 自主制作				7	
4	専攻版種による実技実習					材 術 研 究	祭	卒業制			冬 期 作	11		
大学院1	ガイダンス 4/11 専攻版種による実技実習							創作制			休 業 作	7		
2	専攻版種による創作研究							9/2 14	9/20 23	修了制			12/23 1/4 作	6
集中授業	日本画 芸術 学科	←二版種選択孔・石 4/30~5/9 木・銅 5/10~5/18 計36 ←木、銅の各1種選択にて開講						油画2年 10/7~11/9 銅木石孔の 2種選択	←約 30 名	油画 1年	←木口木版 11/25~12/7 55名			
その他						一 般	夏期公開講座 8/22~29 銅、孔 各15名 30名							

▶ 大学版画教育現状調査

京都市立芸術大学

☎610-11 京都市西京区大枝沓掛町13-6 TEL.075-332-0701

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	受講者数
1	総合基礎（入学して半年は美術科、デザイン科、工芸科、全学生共通の実技を行う）												
	日本画基礎、油画基礎、彫刻基礎の内1つ必修												
2	同 上												
	←	集中4週		集中4週	版画制作（年間）				集中4週		集中4週	→	
3	←	版画基礎① 銅版 石版 孔版	木版 集中	版画基礎② 銅版 石版 孔版	同 上 教員 8 出講数400				木版 集中	③ 銅版 石版 孔版	④ 銅版 石版 孔版	→	9
	←	教官 7 出講 70 学生 20	実技	教官 7 出講 70 学生 20	同 上				実技	教官 7 出講 70 学生 20	教官 7 出講 70 学生 20	→	9
大学院1	自主計画による研究制作												4
2	同 上 教官 2 出数 9												2
見学	展覧会等年間3～4回（2, 3, 4, 院全員参加）教官2 学生数延 100名 研修旅行年1回（同 上）教官5 学生数 30名												

集中は全学共通課目

- 学部学生、大学院共「自主計画、自主制作」が基本であり、版種も固定せず併用も自由。学生割もせず合評会（重要な位置をしめる）も2, 3, 4（時には大学院も加える）合同し行う。従って技術等の指導は個人別にアドバイスする。
- 全学共通による「版画基礎」は石、銅、孔計5点を提出させる（例 デザイン、陶器などの学生も受講出来る）又、版画専攻に進む学生もこれを修得しなければならない。

多摩美術大学

☎190-03 八王子市鋤水1723 TEL.0426-76-8611

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	受講者数
版画コース 3	←	木版	→	各版種自主制作				自主カリキュラム					
	←	銅版	基礎実習										
	←	石版											
版画コース 4	自主カリキュラム			作品7点 画集1点	自主カリキュラム				卒業制作 作品 5点				15
大学院1	自主カリキュラム												木 10 銅 13 石 13
大学院2	自主カリキュラム						修了制作						木 3 銅 5 石 7
選 択	自主カリキュラム			自主カリキュラム									木 3 銅 3 石 5 孔 1 (留学生)
見学	伝統木版見学（渡辺木版 銀座）												17

4/1 版種説明会 5/11～12 山中湖セミナー 6/27,9/26,12/12 批評会 夏季休暇 7/5～9/17



▶ 大学版画教育現状調査

愛知県立芸術大学

TEL.05616-2-1180

女子美術大学

☎166 杉並区和田 1-49-8 TEL.03-382-2271

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	受講者数
学部 油絵 2年	銅版 PM	教官 1 出講数 8				銅版							80
短大 1 別科	年間毎水曜日 午後 銅版 教官 1 出講数 25											40	
短大 2 絵画	銅版 1グループ2週間80名 AM		石版 AM				石版 1グループ3週間 80名 AM	卒業制作 銅版、石版 8名 AM					延 168
講義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選択科目3年次版画史(益田裕作)4単位</li> <li>・版画1,2年次合同スケッチ旅行(美術館見学を含む)</li> <li>・年1回特別講演・小川町和紙工場見学</li> </ul>												

愛知県立芸術大学

☎480-11 愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峰 1-1 TEL.05616-2-1180

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	受講者数
3年 集中授業	関連科目 日本画、彫刻 AM・PM 2週間	石版 4名 12回	銅版 4名 12回	木版 5名 12回	←油画AM・PM		銅版 4名 12回	石版 4名 12回	油画AM・PM				木 25 銅 45 石 45
大学院1年 集中授業	3週間			銅版 石版 4名 8回		5週間		銅版 石版 AM・PM 4名 30回					銅 10 石 10
デザイン専攻 学部2年			デザイン2年次 選択・課題 8週間										

他に伝統木版1回(非動2名)

東海大教養学部

☎259-12 平塚市北金目 1117 TEL.0463-58-1211

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	受講者数
造形 3	銅版 出講数 14 AM 教官 2						石版 出講数 12 AM 教官 2						銅 12 石 12
造形 4	銅版 出講数 14 石版 教官 2						PM 卒業制作						銅 5 石 5



▶ 大学版画教育現状調査

東京造形大学

☎193 八王子市元八王子町3-2707 TEL.0426-61-4401

所属	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	受講者数
絵画1年	← 通年、毎週木曜PM.版画表現 (シルク・スクリーン) 銅版画 →				AM. 5週間 (25回)	← リトグラフI 集中授業 →							57
絵画2年	PM. 5週間 (25回)		← リトグラフII (シルクも可) 集中授業 (写真製版も含む) →		夏	← 大 →							57
版画履習コース3年	← 石版画・銅版画 通年、毎週木曜AM.絵画演習有り(孔版画) →				季	← 木版画 学 →		← 銅・石・木・孔の希望版種による版表現 (2年までに全版種の基礎授業は終了している) →					19
版画履習コース4年	← 制作研究I 各自のテーマによる版制作 通年、毎週木曜PM.絵画演習有り →				休	← 制作研究II 祭 →		← 各自のテーマによる版制作と卒業制作 →					19
研究生	研究生として現在4名在籍 1ヶ年間を単位とする				業								4
集中授業	デザイン科学生を対象として シルクスクリーン授業 月曜AM.PM.金曜PM.3講座あり												各30

- 卒業制作は各自専任指導教官を選び計画書を提出。指導を受けた後、制作完了時に作品と同様報告書を提出チェックを受ける。
- 見学、課外授業は必要に応じて行なう。
- リトグラフIIではリトに限らず、銅・シルクの技法も併用しながら、自分で撮影した写真を焼き付け、網がけ、感光製版、摺りまでの全行程を行なう内容になっており、内容的には総合的授業となっている。(スタジオ、暗室、光学機器使用)
- 3年次のコース選択は本人の希望と共に、成績順に定員数が決まっている。

日本大学 芸術学部

☎176 練馬区旭ヶ丘2-42 TEL.03-972-2111

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	受講者数
3年	銅版 PM.4:00~7:00 3週間	木版 4週間	石版 4週間	← すべて教官 8名 →	孔版 教2 4週間	I版への転換 教7	II 教6	制作研究 教5					5
4年	卒制 エスキース	PM.1:00~PM.6:00 1週間			卒	業	制	作					8
版画専攻研究科	← 自主制作 →												5
集中授業	銅版 石版 PM.1:00~5:00	彫刻科 2年生 3週間 教1 補助1 出講毎日				銅版 石版	絵画 2年生 4週間 教1 補助1 出講毎日						64

武蔵野美術大学

〒187 小平市小川町1-736 TEL.0423-41-5011

所属	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	受講者数
油 4年	AM PM 4週間	石・木・銅 選択・ 集中授業											石 8 木 3 銅 10
油 2年		PM 3週間	石・木・銅 選択・ 集中授業		夏			芸		冬		学入	石 25 木 23 銅 25
短大油 2年			AM 3週間	集選石 中授・木・銅	季		AM 2週間	集選石 中授・木・銅	術	季		年試	石28.20 木16.10 銅11.10
短大油 専攻科			PM 3週間	集石 中授業	休				祭	休		末 試	12
短大 グラフィック デザイン 専攻科					業		PM 4週間	石版画 (アルミ・PS) 集中・授業		業		験	5
油・大学院 1年								AM 7週間	石版画 集中授業				5
実技専修科 研究科 版画専攻 (聴講生も含む)	石版画 7週AM.PM	木版画 3週 AM.PM	銅版画 3週 AM.PM				石・木・銅より 希望版種を 選び制作		修了		制作		8

- 年1回伝統木版の実技講演あり。
- 実技専修科研究科・版画専攻、この科が唯一1年間通して版画の授業が行なわれる。  
あとは、計7つの3～4週間単位の集中授業でなりたつ。課外活動として、版画ゼミナール(銅版10名・石版10名)あり。
- 尚、61年度より大巾なカリキュラムの変動が予定されており、このカリキュラムは集中授業主体のものとして参考にする。

愛知教育大学美術教室

〒448 刈谷市井ヶ谷町広沢1 TEL.0566-36-3111

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	受講者数
美術教室	絵画IIのうち												
2	小中学校に必要な入門基礎の実習 70名 1週1回(135分)半年間							木版・銅版			教員 1		前期35 後期35
	木版・銅版 教員 1 出講数 18										出講数 18		
4	木版・銅版・石版・孔版 からの選択										教員 2		8
											出講数 36		
集中授業						孔版 4日間集中							
講義	3年25名 週90分半年 版画理論及材料研究												

- 4年次は美術の学生は1、2年で絵画、彫塑、デザイン・工芸の基礎的実技を受け3年次前記4専攻に分かれ、絵画3年は油絵実習及び講義の他、版画理論の講義(90分半年)がある。絵画で油絵と版画のコースに分れて制作を行う。

三島学園女子大学

☎982 宮城県泉市虹の丘1-18 TEL.0222-72-7511

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	受講者数	
3年	石版・孔版						←	→	石版・孔版					3年次 16名 4年次 5名
4年	毎週 月・火・水 9:30~PM7:00で卒業制作						銅2 石5 孔1							8名
聴講生	毎週 月・火・水 9:30~PM7:00												3名	
版画 ゼミナール	毎週 月・火・水 4:00~PM7:00												1年6 2 1 3 4 4 8 } 22名	

宇都宮大学教育学部

☎321 宇都宮市峯町350 TEL.0286-36-1515

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	受講者数
4年	銅版(ドライポイント) 毎週月曜日 午後3時間		銅版(エッチング) 年間35週 教官1名				木版 石版(ジंक版)後期は並行して実施						17
卒業制作	専攻版種による卒業制作 週6時間(2コマ)年間 35週 教官1名												1

常葉学園短期大学

☎439 静岡県小笠郡菊川町半済1550 TEL.05373-5-3171

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	受講者数	
絵画1年						木銅 石孔	出講 8 教官 1					木銅 石孔	12	
デザイン 1年							孔版		出講 21 教官 1				孔	41

種 別 大学名	集 中 授 業					通 年 授 業															備 考
						版画科・専攻					版画コース				大 学 院						
	木 版	銅 版	石 版	孔 版	総 数	木 版	銅 版	石 版	孔 版	木 版	銅 版	石 版	孔 版	木 版	銅 版	石 版	孔 版	総 数			
愛知教育大学美術教室				60	60														78		
愛知県立芸術大学	25	55	55	13	148															集中授業中 銅10石10大学院	
宇都宮大学教育学部	17	17	17	13	64																
九州産業大学芸術学部		58	50		108															集中授業中 銅8大学院	
京都市立芸術大学			80		80			25						1	2	2	1		31		
京都文教短期大学										23	23	24	24						94		
佐賀大学	30				30							30							30		
滋賀大学							16		16										32		
女子美術大学		200	80		280				80										80		
多摩美術大学						10	13	13						6	8	12	1		53		
筑波大学				30	30							63				15			78		
東京芸術大学	15	45	30	25	115							16		3	4	4	2		29		
東京造形大学		57	104	57	214					21	13	15	3						56	研究科 銅3石1	
徳島大学		30			30																
東洋美術学校	2	42	32	2	78														7	研究科 7	
東海大教養学部												17							17		
常葉学園短期大学		12		41	53																
名古屋芸術大学										12	98	77							187		
日本大学 芸術学部		64	64		128							13							18	研究科 木2銅3	
広島大学	20	20	20		60																
福島大学								30											32	卒業制作 孔2	
文化学院			60		60																
北海道女子短期大学			40		40				10										10		
三島学園女子大学							2	17	18										37	版画ゼミナール 銅2石18孔2	
宮城教育大学			10	10	30														10	集中授業中 コラグラフ10	
武蔵野美術大学	52	55	108		215			8											8	版画ゼミナール 銅10石10	
武蔵野美術学園	20	60	40		120			20			20								20		
山口大学	12	8	17	17	54																
山形大学								3												版画ゼミナール	
和光大学							1				1								1		

▶ 版画施設状況

種 別 大学名	総合面積 ㎡	版画教室面積					版画プレス機 台 数				そ の 他 備 考			
		木 版	銅 版	石 版	孔 版	その 他	木 版	銅 版	石 版	孔 版	暗 室	腐 蝕 槽	焼 付 機	
愛知教育大学美術教室	103	臨	103				2	2	1	○	○	○	(研)教員研究用 乾燥機 孔版工房はデザイン専攻用	
愛知県立芸術大学	399	55	73	91	65	(研) 115	6	8		○	○	○		
秋田大学教育学部	30	共 用					1	1	1			○		
宇都宮大学教育学部	45		25	20			2	1	1	1				
金沢大学教育学部		共 用					4	2		○				
九州産業大学芸術学部	195	135				(研) 60	1	5	9	2		○		(研)教員研究用 シンク研磨(大柱板用) 乾燥機・製版カメラ
京都市立芸術大学	280	臨	82	104	94		2	5	9	4	○	○		
京都文教短期大学	194	共用	50	144			3	3	3	32	○	○		
佐 賀 大 学		共 用					2	1						
女子美術大学	492						2	6	14		○	○		スキー研磨機
多摩美術大学	197	48	62	62		(描) 25	3	2	7				(描)描画室	
筑 波 大 学	222	72		150			1	5	8	4		○	○	
東京芸術大学	403	118	108	152	25	(製) 25	2	4	10	10	○	8	○	(製)製版室 製版カメラ・スキー研磨機 銅版裁断機・張付機
東京造形大学	208	208					1	5	8	5		○	○	
徳 島 大 学	80		共用				2							
東洋美術学校	148	48			100		2	2	6					
東海大教養学部	64		64				2	2			4			
常葉学園短期大学	66	共 用					1	1	1	13			(暗)13㎡ (暗)52㎡	
名古屋芸術大学	557	49	153	101	49	(教) 52	3	5		○		○	色分解機・デザインスコープ コピーカメラ	
日本大学 芸術学部	125	70	55	共用			1	3	4		○			
広 島 大 学		臨 時					2							
福 島 大 学	120	120					6	1						
文 化 学 院	59		39	20			2	2		○				
北海道女子短期大学		共 用					2	2						
三島学園女子大学	180		45	90	45		3	4	4	○			デザインスコープ	
宮城教育大学	49	臨	共 用				3	2		○		○		
武蔵野美術大学	316	臨	94	128		共 94	1	4	11		○		銅版裁断機	
武蔵野美術学園	249	166			臨		1	3	5					
山 口 大 学	42	42					1	2	1					
山 形 大 学		共 用					1	2	2	○				
和 光 大 学	202		2	4		(教) 12				○			(教)教員研究用	
滋 賀 大 学	72	共 用					1	1	2	○	○	○	製版カメラ・乾燥機・張付機	

種 別 大学名	常 勤				非 常 勤	※ 1 : 木版 2 : 銅版 3 : 石版 4 : 孔版  ㊶教授 ㊷助教授 ㊸専任講師 ㊹専任助手 ㊺専任副手 ㊻非常勤講師 ㊼非常勤助手・副手 ㊽特別講師
	A 教 授	B 助 教 授	C 講 師	D 助 手		
愛知教育大学美術教室	1	1			1	竹原裕(4-㊶) 野沢博行(2-㊷) 加藤芳一郎(4-㊹)
愛知県立芸術大学	1	1			6	吉本弘(2-㊶) 山口博一(4-㊷) 山本富章・設楽知昭(1-3-㊹) 白木彰(4-㊹) 小野忠重・磯貝輝夫(1-㊹) 中林忠良(2-㊹) 赤川勲(3-㊹) 岡部徳三(4-㊹) 加藤茂外次・高羽清司・山口智也(1-4-㊺) 島田英次郎・中村直次(1-㊽)
宇都宮大学教育学部	2					平川晋吾(1-3-㊶) 広瀬滋夫(4-㊶)
金沢大学教育学部	1					今井治男(2-3-㊶)
九州産業大学芸術学部	1	1			2	豊福孝行(2-㊶) 酒井忠臣(3-㊷) 中林忠良(2-㊹) 東谷武美(3-㊹)
京都市芸術大学	1	1			5	吉原英雄(3-㊶) 舞原克典(2-㊷) 一園達夫(1-㊹) 山本容子(2-㊹) 西村正幸(3-㊹) 中路規夫・杉山晶子(4-㊹) 片山雅人(1-4-㊺)
京都文教短期大学	1		1			奥井章夫(1.2-㊶) 森俊夫(3.4-㊸)
佐賀大学		1			1	深草廣平(2-㊶) 毛藤忠(1-㊹)
滋賀大学	1					秋元幸茂(2.4-㊶)
女子美術大学		1		3	11	田村文雄(3-㊷) 小野克子・加藤れい子・松島順子(1-4-㊹) 日下賢二(1-㊹) 小林基輝(2-㊹) 馬場章・加藤清美(2-㊹) 小林清子(3-㊹) 鎌谷伸一(4-㊹) 小川正明・緒方一成(2-㊹) 小作青史(2-㊽) 星野美智子(3-㊽) 坂口国男(油彩-㊹)
多摩美術大学	1	1	1	2	1	吹田文明(1-㊶) 小作青史(3-㊷) 渡辺達正(2-㊸) 藤岡慎治(3-㊹) 木村繁之(1-㊹) 深沢幸雄(2-㊹)
筑波大学		1			1	白木俊之(1-4-㊷) 小作青史(3-㊹)
東京芸術大学		2			7	野田哲也(1-㊷) 中林忠良(2-㊷) 原健(3-㊹) 鎌谷伸一(4-㊹) 筆塚稔尚(2-㊸) 渋谷和良(3-㊸) 山口純寛(4-㊸)
東京造形大学	1	1			7	馬場椿男(1.2.3-㊶) 原健(3.4-㊷) 北村和士・清塚紀子(2-㊹) 伊東正悟(1.3-㊹) 園山晴己・若生秀二(3-㊹) 古川仁史・二井(4-㊹)
徳島大学					1	清塚紀子(2-㊹)
東洋美術学校			3	1	3	小林次男(1.2-㊸) 佐藤行信(3-㊸) 杉山久志(4-㊸) 小松義明(1-㊹) 高垣秀光(1-㊹) 黒田茂樹(2-㊹) 渡辺満(3-㊹)
東海大教養学部	1				1	山野辺義雄(2-㊶) 浜西勝則(2-㊹)
常葉学園短期大学				1	1	朝比奈則江(1-4-㊹) 伊東正悟(1-4-㊹)
名古屋芸術大学			1		2	武蔵篤彦(2.3-㊸) 河内成幸(1-㊹) 判治佐江子(2-㊹)
日本大学芸術学部			1	1	2	有地好登(1-3-㊸) 松本真一(1-3-㊹) 吉田穂高・小山松隆(1-3-㊹)
広島大学					2	馬淵聖(1-㊹) 小作青史(2.3-㊹)
福島大学		1				丸山浩司(1-4-㊸)
文化学院			1		3	相沢美則(2.3-㊸) 齊藤寿一(2.4-㊹) 上野秀一(2.3.4-㊸) 西山純男(3-㊽)
北海道女子短期大学					1	清水敦(2.3-㊹)
三島学園女子大学	1		1		1	大槻紀雄(1-4-㊷) 大塚恵子(3.4-㊹) 佐々木健二郎(2.3-㊽)
宮城教育大学		2			2	坂本小九郎(1-㊷) 高山登(コラグラフ-㊷) 大槻紀雄(3-㊹) 高橋貴和(4-㊹)
武蔵野美術大学	1			1	6	清水昭八(3-㊶) 若月公平(2-㊹) 大沢秀直(1-㊹) 塙太久馬(1-㊹) 池田良二(2-㊹) 永井研治(3-㊹) 吉倉ますみ(3-㊸) 関岡扇令(1-㊽) 関岡裕介(1-㊽) 川島秀勝(1-㊽)
武蔵野美術学園				2	6	藤本俊彦(2-㊹) 阿部成治(3-㊹) 城所祥・塙太久馬(1-㊹) 森野真弓・小川正明(2-㊹) 稲田年行・吉田和枝(3-㊹)
山口大学			1			武市勝(1-4-㊸)
和光大学	1					齋藤寿一(1-4-㊶)

▶ 大学版画研究会 各大学住所

愛知教育大学美術教室	刈谷市井ヶ谷町広沢一 ☎448 TEL0566-36-3111	静岡大 学	静岡市大谷836 ☎422 TEL0542-37-1111
愛知県立芸術大学	愛知郡長久手町大字岩作字三ヶ峰1-1 ☎480-11 TEL05616-2-1180	女子美術大学	杉並区和田1-49-8 ☎166 TEL03-382-2271
秋田大学教育学部	秋田市手形学園町1-1 ☎010 TEL0188-33-5261	上越教育大学	上越市山屋敷町1 ☎943 TEL0255-22-2411
跡見学園短期大学	文京区大塚1-5-2 ☎112 TEL03-941-8161	成安女子短期大学	京都市上京区相国寺北門前町 ☎602 TEL075-256-2401
岩手大学教育学部	盛岡市上田3-18-33 ☎020 TEL0196-23-5171	創形美術学校	国立市富士見台2-37-4 ☎186 TEL0425-76-1981
宇都宮大学教育学部	宇都宮市峰町350 ☎321 TEL0286-36-1515	多摩美術大学	八王子市錦水1723 ☎190-03 TEL0426-76-8611
愛媛大学	松山市文京町3 ☎790 TEL0899-24-7111	多摩美術大学大学院	世田谷区上野毛3-15-34 ☎158 TEL03-702-1141
大垣女子短期大学	大垣市西之川町1-109 ☎503 TEL0584-81-6811	玉川大学	町田市玉川学園6-1-1 ☎194 TEL0427-28-3111
大阪教育大学	大阪市天王寺区南河堀町4-88 ☎543 TEL06-771-8131	筑波大学	茨城県新治郡桜村天王台1-1-1 ☎305 TEL0298-53-2111
金沢大学教育学部	金沢市丸の内1-1 ☎920 TEL0762-62-4281	都留文科大学	都留市田原3-8-1 ☎402 TEL05544-3-4341
九州芸術工科大学	福岡市南区塩原4-9-1 ☎815 TEL092-541-1431	東京学芸大学	小金井市貫井北町4-1-1 ☎184 TEL0423-25-2111
九州産業大学芸術学部	福岡市東区松香台2-327 ☎813 TEL092-681-1831	東京芸術大学	台東区上野公園内12-8 ☎110 TEL03-828-6111
京都市立芸術大学	京都市西京区大枝沓掛町13-6 ☎610-11 TEL075-332-0701	東京造形大学	八王子市元八王子町3-2707 ☎193 TEL0426-61-4401
京都精華大学	京都市左京区岩倉木野町137 ☎606 TEL075-791-6131	徳島大学	徳島市南常三島町1-1 ☎770 TEL0886-23-2311
京都文教短期大学	宇治市榎島町千足80 ☎611 TEL0774-21-4101	東洋美術学校	新宿区市谷富久町2-6 ☎162 TEL03-359-7421
岐阜大学	岐阜市柳戸1-1 ☎501-11 TEL0582-30-1111	東海大教養学部	平塚市北金目1117 ☎259-12 TEL0463-58-1211
高知大学	高知市曙町2-5-1 ☎780 TEL0888-44-0111	常葉学園大学	静岡市瀬名1000 ☎420 TEL0542-63-1125
嵯峨美術短期大学	京都市右京区嵯峨五島町1-1 ☎616 TEL075-882-1031	常葉学園短期大学	静岡県小笠郡菊川町半济1550 ☎439 TEL05373-5-3171
佐賀大学	佐賀市本庄町1 ☎840 TEL0952-24-5191	名古屋芸術大学	愛知県西春日井郡西春町徳重1 ☎481 TEL0568-24-0325
札幌大谷短期大学	札幌市東区北16条東9丁目 ☎065 TEL011-742-1651	名古屋造形短期大学	小牧市大字大草字年上坂6004 ☎453 TEL0568-79-1111
滋賀大学	大津市平津町2-5-1 ☎520 TEL0775-37-0081	奈良教育大学	奈良市高畑町 ☎630 TEL0742-26-1101

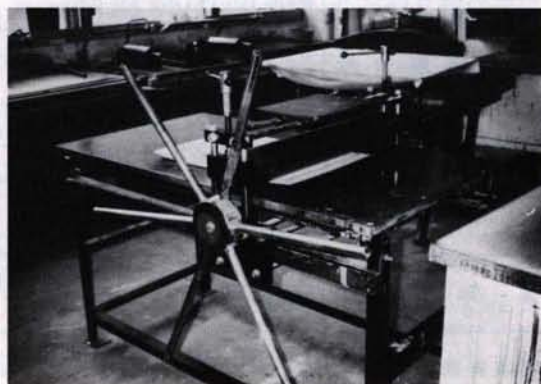
日本大学芸術学部	練馬区旭ヶ丘2-42 ☎176 TEL03-972-2111	三島学園女子大学	宮城県泉市虹の丘1-18 ☎982 TEL0222-72-7511
兵庫教育大学	兵庫県加東郡社町下久米942-1 ☎673 TEL07954-4-1101	宮城教育大学	仙台市荒巻字青葉 ☎980 TEL0222-22-1021
兵庫女子短期大学	加古川市平岡町新在家2301 ☎675-01 TEL0794-24-052	武蔵野美術大学	小平市小川町1-736 ☎187 TEL0423-41-5011
弘前大学教育大学	弘前市文京町1番地 ☎036 TEL0172-36-2111	武蔵野美術学園	武蔵野市吉祥寺東町3-3-7 ☎180 TEL0422-22-8171
広島大学	広島市南区東雲3-1-33 ☎734 TEL082-281-3141	山田学園家政短期大学	名古屋市東区葵1-17-8 ☎461 TEL052-931-7111
福岡教育大学	宗像市大字赤間729 ☎811-41 TEL0940-32-2381	山口大学	山口市吉田1677-1 ☎753 TEL0839-22-6111
福島大学	福島市松川町浅川字直道2 ☎960-12 TEL0245-48-5151	山口芸術短期大学	吉敷郡小郡町大字上郷 ☎754 TEL08397-2-2880
文化学院	千代田区神田駿河台2-5 ☎101 TEL03-291-2273	山形大学	山形市小白川町1-4-12 ☎990 TEL0236-31-1424
北海道教育大学	岩見沢市緑ヶ丘2-34 ☎068 TEL0126-22-1470	琉球大学	中頭郡西原町字千原1 ☎903-01 TEL09889-5-2221
北海道女子短期大学	江別市文京台23 ☎069-01 TEL01138-6-8011	和光大学	町田市金井町2160 ☎194-01 TEL044-988-1431
松本短期大学	松本市笹笠3118 ☎399-65 TEL0263-58-4417		

▶ 見学 — 多目的プレス機LXC型 清水昭八先生をたずねて

木村繁之



(多目的版画プレス機LXC型)



(銅版画使用中のプレス機)

大学は休みに入りアトリエも静かになった午前中に、清水昭八先生をたずねて武蔵野美術大学へ行きました。この版画研究室には清水先生考案による多目的プレス

機LXC型があり、その見学を先生にお願いした訳です。

この新型プレス機は名称の通り銅版、木版、石版、



の3版種が自由に刷れるという事です。本来は石版プレス機の改良型として開発されたのですが、結果的にはどの版種でも圧のかけ具合によって従来のプレス機と同様に刷れるようです。

木版の場合、平均的な圧としては1平方センチあたり30~40kgの圧がかかりますが、石版は70~80kg、銅版は90~120kgという様に木版の2倍3倍の圧のかかり方をします。刷る版種によってローラーの左右にある圧力ハンドルで圧を変え、それぞれの版に合わせて刷ってゆきます。圧が大きくなれば当然プレスハンドルの廻すのに力が必要ですが、このプレス機の場合は女性でも軽々と廻せるという利点があります。そのせいか圧のかけ方に慣れないと圧がかかりすぎるという事があるそうです。

#### 版種別の使用について

##### ○銅版

90~120kgの圧をかけた場合にはそのままハンドルが少し重くなるので、ハンドル部分をエトワール式という船の舵取の様な形のハンドルに取り変える事も出来る。それによってかなりの圧がかかっているでも従来のものより楽に刷れる。また、これまでのプレス機だとベッドの中央部分でしか刷りづらかったのが新型プレス機ではベッドの大きさに近いものまで均等の刷りが出来ます。

##### ○石版

もともと石版プレス機の使いづらさを解消するために開発されたというだけあって刷りの速さとプレスハンドルの軽さは今までのものとは比較にならない程優れている。圧をかけてもハンドルは非常に軽く、約3倍のスピードで刷る事が出来る。ベッドの大きさは720×1335㎜と700×1100㎜の2種類があり、それぞれ菊全板、証板の大きさが刷れる。従来のプレス機と比べて最も優れている点は、スキージの皮やラトウ板など定期的に取り変えの必要がある消耗部品が全く無くなったという事で、年2回位油をさすだけでプレス機の管理維持が非常に楽になりました。また同程度の大きさの版を刷る場合に必要なプレス機のスペースが65%で済むそうです。これはベッドが固定したという事に

よって前後のスライドのスペースがいなくなった事もあります。

##### ○木版

ベッドが机の様な状態になっているので、ベッドの上に版を置いたままの状態で作業が出来ます。

油性木版の場合版を置いたままインクをのせる事が出来るので作業台を兼ねたプレス機とも言えるでしょう。木版専用を使う場合にはベッドの部分にある厚さ23mmの定盤を同じ厚さの木の合板に変えれば全体の重量もかなり軽くなりますので、普通の家屋での据えつけも可能です。

版種別に説明をしましたが、このプレス機は上下のローラーがフリーになっている為に左右の圧を均等に合わせていないと、刷った作品にシワがよる事もあります。しかし圧をきちんと合わせている限りは特に問題は無いとの事です。

ベッドを固定して前後のスライドしてゆくスペースを無くしたという点が狭いアトリエでも使いこなせる最大の利点だと思います。プレス機の自重も300kgで、同程度の刷りの出来る銅版プレス機800kg、石版プレス機400kgに比べるとかなり軽くなっています。私の住んでいる狭い家を考えてみるとこのプレス機が欲しくなりました。

3版種に使える多目的プレス機ですが説明をうかがっておりますと、石版プレス機の改良型というだけあって従来のプレス機の使いづらかった点がほとんど解消されていて、石版プレス機としての使用には最も適しているのではと思いました。

清水先生の熱心な説明をうかがっております内に、この熱心さが利点の多い新型プレス機を開発したのだと実感しました。また今回の取材につきましては貴重な時間をさいて下さった上に実に詳しく説明していただきました事を感謝いたします。



札幌大谷短期大学

岡部 昌生

札幌大谷短期大学は、昭和36年に開学し、保育科、音楽科、美術科からなる女子のみの短期大学である。北海道の私立短大で初めて女子のための美術専門の美術科が開設され、本年3月には第20期の卒業生が巣立った。

美術科は、油彩コース、デザインコースに専攻が分かれ、現在学生総数は、専攻科学生も含めて150名である。

版画は両コース共通の習得科目で、現在、孔版、凹版、平版の各講座が開かれている。孔版はデザインコースの必修科目で1年時に、凹版（ドライポイント、エッチング、アクアチント）、平版（金属版直接法）は、両コースの必修科目として2年次にそれぞれ復習される。それらは、週1回（3時間）、半期の時間の中では、基礎的技術の習得が主となる。版画の授業は、専門の実技との関連が提携して行われていて、とりわけデザインコースの造形表現の中での材料体験や版的造形思考による課題とは関連深く学習される。専攻科の凹版（メゾチント）平版（多色金属版）は半期交替で行われ、後半の平版の実習では、版画集の刊行も計画される。実習室の設備（63㎡、エッチングプレス、リトプレス各2台）の中で延人数200名の実習は、2人のスタッフの指導の限界を超えるものである。その中から、毎年若干名の版による卒業制作にとり組む学生のいることが、せめてものことである。



兵庫女子短大

柳楽 節子

本学の美術デザイン学科の学生数は、約80名である。1年次には基礎造形を中心にして、2年次に専攻する各コースの基礎を、全般的に学ぶことになっている。

2年次に用意されている専攻コースは、絵画（日本画、油絵）、商業デザイン、工芸（染色、織物、陶芸、木彫）が設けられており、版画は、美術コースの中の選択科目の1つである。

昨年までは、版種を孔版のみにしぼり、通年で2単位の扱いであったが、本年度からは木版画を加え、前期孔版（2単位）、後期木版（2単位）と改められた。

最近の傾向として、版画に興味を持つ学生が年ごとに増加し、美術専攻の学生に限らず、デザインや工芸専攻の学生の受講者も多く、孔版をデザインや染色の卒業制作にとり入れるというケースもめずらしくない。

紙以外のさまざまなものにも刷ることができるという孔版の特長を生かして、デザイン専攻の学生がアクリル版に刷ったり、染色専攻の学生が、布地に刷った年もあった。

授業では、各専攻コースからの受講者とも課題は共通で、むしろ版画の制作を通じて、広い視野から自由な発想をひき出すひとつの機会となりうる授業内容、心がけている。

現状では設備もまだ充分とはいえないが、意欲的な学生の制作態度を目のあたりにする時、担当者としては更に将来に向けて、リトグラフを加えるなどして授業の充実をはかり、学生とともに版画研究を進めていきたいと願っている。

今年から学科専用のギャラリーが開設され、卒業生や在学生の作品展が常時開催できるようになり開館記念展に版画作品もならべられ、学科全体が盛り上がるなかでのひとつの役割を果たしている。



●昭和60年第1回臨時総会

池田 良二

5月25日東京芸術大学版画研究室で運営委員会後、会場を変え、東京文化会館会議室にて開催。出席会員22氏、ほか委任状提出会員により進められた。清水昭八事務局長を議長、書記、池田良二として下記の議事を行った。

○大学版画教育の現状と今後のあり方について。会長として吹田文明氏（多摩美大）より説明があり、版画科を設置している女子美術大、田村文雄氏からの現状報告。東京造形大、馬場栲男氏、東京芸術大、中林忠良氏、筑波大、白木俊之氏から報告と発言。一版画教育現状調査の為にアンケート調査を行う。

○第10回大学版画展について検討し細目事項の承認。会場、丸の内画廊。予定出品校43校。会期は二つに分けAグループ、9月2日～9月7日、Bグループ、9月9日～9月14日。アルバムは予約制にしカラー写真にて作成。

○海外会員のありかたについて。一般会員に準じて入会希望の場合、受け入れる。

○海外交流展について。タイラー美術学校との交流展。会期昭和60年10月31日～11月19日。会場、タイラー美術学校画廊。

○会報について。13号の発行にあたり園山晴巳氏（造形大）から報告と提案。15号発行を5月編集の提案（会員移動が4月時に多い為）。会報表紙に英文字タイトルの記入。The Committee of Universities of Art for Print Studies in JAPAN 略 CUAP とする。

○会員の移動報告、入会申込者の承認。新会員に堀太久馬（武蔵野美術大学）川西祐三郎（奈良教育大学、兵庫教育大学）清水敦（北海道女子短期大学）渋谷和良（東京芸術大学）小川正明（女子美術大学、武蔵野美術学園）森岡完介（名古屋造形短期大学）上野秀一（文化学院）7氏の入会を承認した。退会希望者の承認。山本文彦、府川誠、細田政義、渡辺明信の4氏。

第1章 総 則

- 第1条 本会は大学版画研究会と称する。
- 第2条 本会は会員相互の協力により大学に於ける版画教育の進歩発展をはかることを目的とする。
- 第3条 本会の事務所は大学の版画研究室におく。

第2章 事 業

- 第4条 本会は第2条の目的を達成するために下記の事業を行なう。
  1. 機関誌、出版その他、研究調査に関する事業
  2. 研究協議会の開催。
  3. 研究のための専門委員会または部会を設けることがある。
  4. その他本会の目的を達成するために必要な事業。

第3章 会 員

- 第5条 本会は会員を以て組織する。
- 第6条 会員は大学に於て版画教育に関係する者で入会の手続きを完了した者とする。
- 第7条 会員は別に定められた会費を納入しなければならない。

第4章 組織及び運営

- 第8条 本会の事業を運営するために次の役員をおく。
  1. 会 長 1 名
  2. 事務局長 1 名
  3. 運営委員 若干名
- 第9条 会長は本会を代表する。
- 第10条 事務局長は庶務、会計、事務を総括する。
- 第11条 運営委員は事業、運営の企画を執行に当る。
- 第12条 本会に名誉会員、相談役、顧問、賛助会員をおくことができる。
- 第13条 役員は総会において選出する、任期は2年とし再任を妨げない。
- 第14条 本会の会議は総会、運営委員会、専門委員会とする。
  1. 総会は年1回開き、本会の事業および運営に関する重要事項を審議決定する。会長は必要に応じて臨時総会を召集することができる。
  2. 専門委員会は内容に即して会長が召集し案件の作製、審議に当る。
  3. 運営委員会は会長が召集し、本会運営の企画に当る。

第5章 会 計

- 第15条 本会の経費は会費及び賛助会費をもってこれにあてる。

附 則

- 1. 第7条による会員の会費は年額3,000円とする。
- 2. 運営のために必要な細則は別に定める。
- 3. この会則は昭和59年8月18日よりこれを施行する。

## ▶ 名誉会員名簿

- 小野忠重 東京都杉並区阿佐ヶ谷北2-25-16  
〒166
- 女屋勘左衛門 東京都目黒区本町1-10-3  
〒152
- 小磯良平 兵庫県神戸市東灘区住吉町丸山御影グランドハイツ3-411  
〒658
- 末松正樹 東京都世田谷区奥沢2-17-22  
〒158
- 田中忠雄 東京都東久留米市学園町1-14-34  
〒180-03
- 平塚運一 7203 Connecticut Avenue chevy chase MD  
20015USA
- 福沢一郎 東京都世田谷区站8-14-7  
〒157
- 村井正誠 東京都世田谷区中野1-6-12  
〒158
- 脇田 和 東京都世田谷区代田4-14-2  
〒155

## ▶ 会員名簿

- 相笠昌義 座間市立野台540  
〒228 TEL0462-54-0279 多摩美大
- 相沢美則 杉並区久我山5-1-22  
〒168 TEL03-334-9521 文化学院
- 青山光祐 山形市大字七浦497  
〒990-21 山形大
- 秋元幸茂 滋賀県大津市稲葉台13-10  
〒520 TEL0775-25-7927 滋賀大学
- 朝比奈逸人 池田市井口堂3-196 新加納苑103  
〒560 TEL06-853-4269 大阪教育大
- 天野純治 神奈川県三浦郡葉山町長柄1601-366  
〒240-01 TEL0468-75-8689 多摩美大
- 有地好登 狹山市北入曾526-10  
〒350-13 TEL0429-57-8468 日本大学芸術学部
- 安間寛行 山口県吉敷郡小郡町大字上郷山口芸術短大内  
〒754 山口芸術短大
- 池田良二 武蔵村山市伊奈平5-43-3  
〒190-12 TEL0425-60-1165 武蔵野美大
- 稲田年行 町田市三輪町1939  
〒194-01 TEL044-988-3339 岐阜大
- 今井治男 金沢市鈴見台4-5-15  
〒920-11 TEL0762-44-5603 金沢大
- 伊東正悟 柏市逆井1668-99  
〒270 TEL0471-72-7830 造形大  
常葉短大
- 上野秀一 東京都杉並区久我山2-1-22 秦様方  
〒168 TEL03-334-3791 文化学院
- 梅津 薫 北海道岩見沢市緑が丘4-221-90  
〒068 TEL01262-4-1975 北海道教育大
- 大塚恵子 宮城県仙台市長町2-13-21  
〒982 TEL0222-48-6853 三島学園女子大
- 大槻紀雄 泉市虹の丘1-18  
〒980 三島学園女子大
- 小川正明 板橋区板橋3-26-5  
〒173 女子美大  
武蔵野美術学園
- 大原雄寛 京都市伏見区日野岡西町4-53  
〒601-13 TEL075-571-6271 成安女子短大
- 奥井章夫 京都市左京区下鴨下川原町47  
〒606 TEL075-791-1668 京都文教短大
- 奥定一孝 松山市東野5-1-19  
〒790 愛媛大

- 小野克子 昭島市西武蔵野1388  
〒196 TEL0425-43-0891 女子美大
- 小作青史 世田谷区羽根木2-32-6  
〒159 TEL03-321-7221 多摩美大
- 小山松隆 千葉県習志野市袖ヶ浦2-6-4-506  
〒275 TEL0474-74-6586 日本大学芸術学部
- 大本 靖 札幌市中央区円山西町3-4-3  
〒064 TEL011-611-0722 北海道教育大
- 岡部昌生 札幌群広島町字西の里379-211  
〒061-11 札幌大谷短大
- 鎌谷伸一 横浜市金沢区並木二丁目7-3-508  
〒236 TEL045-785-4703 芸大
- 神山泰治 那覇市首里石嶺町4-173-11  
〒903 TEL0988-85-5814 琉球大
- 河西万文 山梨県大月市猿橋町殿上483-1  
〒409-06 TEL05542-2-6174 都留文科大
- 河内成幸 多摩市桜ヶ丘4-26-33  
〒192-02 TEL0423-71-4687 福岡教育大
- 川西祐三郎 神戸市東灘区御影山手1-7-11  
〒658 兵庫教育大、奈良教育大
- 加藤清美 世田谷区桜上水1-10-3  
〒156 女子美大
- 加藤れい子 埼玉県狭山市入間川4-25-23 ハウス2008  
〒350-13 TEL0429-53-9174 女子美大
- 加藤茂外次 愛知県春日井市岩成台8-4-1 岩成台西団地601棟212号  
〒487 TEL05616-2-5404 名古屋造形芸術短大
- 加山又造 横浜市鶴見区東寺尾5-3-29  
〒230 TEL045-573-6675 多摩美大
- 城所 祥 八王子市本町35-6  
〒192 TEL0426-22-5857 武蔵野美術学園
- 北岡文雄 杉並区和泉2-27-8  
〒168 TEL03-328-8361 武蔵野美術学園
- 清塚紀子 板橋区上板橋2-48-2-808  
〒173 TEL03-955-2300 造形大
- 木村秀樹 大津市比叡平3-10-5  
〒520 嵯峨短大
- 木村繁之 国立市中1-17-1  
〒186 TEL0425-73-3025 多摩美大
- 小林清子 川崎市宮前区野川4090-1 野川住宅2-403  
〒213 TEL044-751-0483 女子美大
- 小林次男 日野市高幡566 高幡市宮団地204号  
〒191 TEL0425-93-3273 東洋美術
- 小林基輝 埼玉県三郷市早稲田1-13-10  
〒341 TEL0489-58-2031 女子美大
- 黒田茂樹 横浜市金沢区六浦町303  
〒236 TEL045-781-4715 東洋美術
- 斎藤寿一 川崎市幸区塚越3-375  
〒210 TEL044-522-2007 和光大
- 佐藤行信 武蔵野市吉祥寺東町2-6-10 和光荘6号  
〒180 TEL0422-21-8992 東洋美術
- 酒井忠臣 福岡県宗像市田熊1254-35  
〒811-34 TEL09403-7-0728 九州産業大
- 笹本 純 秋田市寺内見桜281-4 見桜住宅1-406  
〒011 TEL0188-33-5261 秋田大
- 坂田和之 静岡県藤枝市若王子2-14-10  
〒426 TEL0546-43-5921 常葉短大
- 渋谷和良 福生市福生1983アメリカンビレッジP32  
〒197 TEL0425-52-4892 芸大
- 設楽知昭 愛知県久手町岩作字三ヶ峰1-1 大学教員住宅4-4  
〒480-11 TEL05616-2-7447 愛知芸大

## ▶ 会員名簿

鴨 剛	大津市御陵町1-3 別所合同宿舍1011 〒520	滋賀大	広畑正剛	世田谷区赤堤3-5-2 〒156 TEL03-324-0532	玉川大
清水昭八	小金井市梶野町4-16-27 〒184 TEL0423-83-3733	武蔵野美大	深尾庄介	世田谷区下馬3-17-2 〒154 TEL03-414-6034	造形大 跡見短大
清水 敦	札幌市豊平区月寒東4条16丁目5-2 〒061-01 TEL011-851-9640	北海道女子短大	深沢幸雄	千葉県市原市鶴舞308 〒290-04 TEL0436-88-2034	多摩美大
島田章三	名古屋市昭和区高峰町143-18 〒466 TEL052-832-9385	愛知芸大	福岡奉彦	上越市西城町1-10 西城宿舍1-203 〒943 TEL0255-22-0807	上越教育大学
白井嘉尚	藤枝市仮宿664 静大宿舍1235 〒426 TEL0546-43-5347	静岡大	吹田文明	世田谷区砵3-33-4 〒157 TEL03-417-7123	多摩美大
白木俊之	茨城県新治郡桜村梅園2-8-13 〒305 TEL0298-52-0710	筑波大	深草広平	佐賀市本庄町西寺小路884-3 〒840 TEL0952-22-1751	佐賀大
園山晴己	世田谷区野毛2-19-2 〒158 TEL03-701-6563	造形大	府川 誠	平塚市平塚1037 〒254 TEL0463-33-0210	造形大
傍嶋康博	千葉県船橋市喜野井4-8-14 〒274 TEL0474-63-3240	都留文科大	星野美智子	杉並区善福寺1-14-10 〒167 TEL03-390-5517	女子美大
田中 孝	大津市比叡平2-14-18 〒520 TEL0775-29-0530	京都精華大 京都芸大	藤岡 慎	横浜市戸塚区上郷町1707-19 〒247 TEL045-894-4923	多摩美大
田村文雄	小平市学園西町2-12-8 〒187 TEL0423-43-7282	女子美大	筆塚稔尚	所沢市上新井784-4 〒359	芸大
武市 勝	山口県山口市大内御堀2980-6 〒747-13	山口大	堀井英男	八王子市宇津木町940-79 〒192 TEL0426-45-3756	造形大
高山 登	仙台市鈎取上野山14-663 〒980 TEL0222-43-2605	宮城教育大	前川 直	岩手県盛岡市茶畑1丁目1-6-411 〒020	岩手大
滝 純一	宗像市宗像町日の里5-1-4-402 〒836 TEL0940-36-0493	福岡教育大	舞原克典	守山市川田町1548-13 〒524 TEL07758-3-0028	京都芸大
滝沢光広	愛知県一宮市大和町代永1219 〒491 TEL0586-44-3330	名古屋造形短大	松川幸寛	松本市空港東区8775-31 〒390-11	松本短大
長宗我部友子	大津市比叡平3丁目42-14 〒520 TEL0775-29-0376	成安女子短大	松浦 昇	岐阜県大垣市上面二丁目提唐 〒503	大垣女子短大
津地威汎	徳島市中吉野町3-11-2 〒770	徳島大	松島順子	大田区田園調布4-29-25 〒145 TEL03-721-3062	女子美大
辻 親造	名古屋市市中村区稲葉地町7-1 〒453	名古屋造形芸術短大	丸山浩司	福島市蓬萊町68-34-3 〒960 TEL0245-49-0903	福島大
永井研治	八王子市市安町1-29-1 〒192 TEL0426-44-4476	武蔵野美大	馬淵 聖	神奈川県茅ヶ崎市芹沢2511-2 〒253 TEL0467-51-1497	広島大
中林忠良	埼玉県上福岡市駒林437 〒356 TEL0492-63-1970	芸大	皆川孝一	狭山市北入曾521-3 〒350-13	日本大学芸術学部
柳楽節子	兵庫県神戸市長田区上池田3-11-12 〒653 TEL078-691-8354	兵庫女子短大	宮田克人	高知県高知市小津町10-41-532号 〒780	高知大
西 真	京都市北区平野上柳町28-21 〒603	嵯峨短大	宮下登喜雄	府中市新町1-12 〒183 TEL0423-61-5634	学芸大 福岡教育大
野沢博行	岡崎市明大寺町字狐塚14-2サンハイツ岡崎A-407 〒444	愛知教育大	武蔵篤彦	名古屋市西区山木2-34-3 〒452 TEL052-502-1472	名古屋芸大
野田哲也	小金井市本町3-14-14 〒184 TEL0423-81-9371	芸大	村上文生	京都市右京区太秦原面影町6-1 〒616	嵯峨短大
馬場 章	川崎市宮前区宮崎1-5-23 峰尾ビルB-203 〒213 TEL044-855-8217	女子美大	村上喜男	弘前市御幸町16-19 北奥舎 〒036	弘前大
馬場構男	横浜市金沢区富岡西4-7-20 〒236 TEL045-772-1770	造形大	森 俊夫	京都府綴喜郡宇治田原町大字岩山小字丸山1-40 〒610-02	京都文教短大
橋本文良	京都市北区紫竹西北町33-12 〒603	京都精華大	森 正一	静岡市西千代田町1-17 〒420	常葉大
塙太久馬	川崎市多摩区堰42-9 〒214 TEL044-822-8492	武蔵野美大 武蔵野美術学園	森岡完介	名古屋市昭和区川名本町3-39 〒466 TEL052-762-6625	名古屋造形短大
浜西勝則	秦野市千村742-15 小田急浜沢ハイイツ1-508 〒259-13 TEL0463-87-3779	東海大	山下哲郎	福岡市東区香住ヶ丘2-23-11 〒813	九州産業大
原 健	世田谷区野沢3-13-17 〒154 TEL03-421-2980	造形大 芸大	山中 現	浦和市鹿手袋465-1 鈴木コーポ202 〒336 TEL0488-63-3260	
平川晋吾	宇都宮市峰町350 〒150	宇都宮大	山辺辺義雄	町田市広袴443-10 〒194-10 TEL0427-34-5117	東海大

## ▶ 会員名簿

- 山本富章** 愛知県愛知郡長久手町岩作三ヶ峰1-1 芸大第3住宅3-5  
〒480-11 TEL05616-2-7526 愛知芸大
- 山本容子** 大津市比叡平3丁目10-8  
〒520 TEL0775-29-0350 成安女子短大
- 山口純寛** 文京区千駄木5-19-3 薬山マンション302  
〒113 TEL03-821-8096 都留文科大、芸大
- 横田嘉雄** 岐阜市日野3968-352  
〒500 TEL0582-47-6552 山田学園家政短大
- 吉田 東** 福岡市南区大字塩原226  
〒815 TEL092-541-1431 九州芸工大
- 吉原英雄** 大阪府高槻市塚原6-18-14  
〒569 TEL0726-96-2286 京都芸大
- 吉田穂高** 三鷹市井ノ頭1-13-40  
〒181 TEL0422-44-3923 女子美大  
日本大学芸術学部
- 吉本 弘** 愛知県愛知郡日進岩崎元井ヶ17-97  
〒470-01 TEL05617-2-3565 愛知芸大
- 蓼 修平** 284 CENTER STREET ENGLEWOOD CLIFFS, N.J.  
07632 TEL201-871-0554 SETON HALL UNIVERSITY
- 若生秀二** 日野市旭ヶ丘1-20-19 泰山荘C-201  
〒191 TEL0425-83-0481 造形大
- 渡辺達正** 八王子市鹿島22-1-208  
〒192-03 TEL0426-75-1655 多摩美大
- 若月公平** 東村山市美佳町2-11-1 小山マンション10E  
〒189 TEL0423-91-6407 武蔵野美大

## ▶ 一般会員名簿

- 阿部 浩** 相模原市東林間7-9-5  
〒228 TEL0427-42-3070
- 東谷武美** 埼玉県上福岡市駒林436-3  
〒356 TEL0492-63-4779
- 出原 司** 京都市中京区姉小路堀川東入ル  
〒604 TEL075-221-5658
- 梅津祐司** 板橋区蓮沼7-7 ハスヌマアパルトマン  
〒174 TEL03-965-8918
- 梅沢和雄** 大宮市植竹町1-537  
〒330 TEL0486-66-4238
- 太田 広** 神奈川県横浜市旭区鶴ヶ峰1-28 C-21号  
〒241 TEL045-371-2561
- 岡部徳三** 神奈川県秦野市洪沢158  
〒259-13 TEL0463-88-0743
- 木村希八** 鎌倉市山崎1350-4  
〒248 TEL0467-45-2223
- 久保卓治** 相模原市上鶴間7-8-1-519  
〒228 TEL0427-48-7769
- 佐藤逸平** 鎌倉市台4-13-12  
〒247
- 高橋貴和** 宮城県名取市名取ヶ丘5-1-1  
〒981-12
- 多田益也** 広島市佐伯区五日市町五月ヶ丘3-14-6  
〒738-08
- 燈野寿蔵** 愛媛県伊予市灘町4丁目  
〒799-21
- 長谷川光輝** 鎌倉市二階堂851  
〒248 TEL0467-25-1459
- 萩原英男** 中野区上高田5-33-8  
〒164 TEL03-386-0192
- 三木淳史** 市川市平田1-13-2  
〒272 TEL0473-22-1948
- 渡辺 満** 町田市高ヶ坂1634-61  
〒194

## ▶ 賛助会員名簿

- 新日本造形** 中野区新井1-42-8  
〒165 TEL 03-389-1221
- サクラクレパス** 千代田区神田三崎町3-1-16  
〒101 TEL 03-263-4221
- ヌーベルセンター** 千代田区神田三崎町3-1-16  
クレパスビル内ヌーベル  
〒101 TEL 03-262-4221
- 大阪フォルム画廊** 中央区銀座6-3-2 ギャラリーセンタービル5階  
〒104 TEL 03-571-0833
- 日本版画保存会** 川崎市多摩区登戸3460 吉沢英哲方  
〒214 TEL 044-911-9041
- 渡辺木版美術画舗** 中央区銀座8-6-19  
〒104 TEL 03-571-4684
- 山田商会** 中央区八重洲2-6-10  
〒104 TEL 03-281-1667・8537
- レッドランタン版画舗** 京都市東山区新門前通り仲之町236  
〒605 TEL 075-561-6314
- 萩原市蔵商店** 千代田区神田紺屋町43  
〒101 TEL 03-256-3591
- 芸大画翠** 台東区上野公園12-8 東京芸術大学内  
〒100 TEL 03-821-7056
- ペンテル** 千代田区東神田2-1-6  
〒101 TEL 03-866-6161
- マルチプルアートセンター** 港区芝浦4-6-4 乃村工芸社  
(乃村工芸) 〒108 TEL 03-455-1171
- ギャラリーカプセル** 中央区銀座8-16-10B401 堀江強志  
〒104 TEL 03-541-4676
- 丸の内画廊** 千代田区丸の内3-2-3 富士ビル1F  
〒100 TEL 03-213-8705
- びけん(本店)** 世田谷区尾山台3-33-5  
〒158 TEL 03-702-2118
- 文房堂** 千代田区神田神保町1-21  
〒101 TEL 03-291-3441
- 日動画廊** 中央区銀座5-3-16  
〒104 TEL 03-571-2553
- 画荘ヴィナス** 新宿区西新宿1-15-13 胖ビル内  
〒160 TEL 03-346-2728
- 画箋堂** 京都市下京区河原町五条上ル  
〒600 TEL 075-791-6131
- クラタ商店** 大阪市鶴見区茨田諸口町1118  
〒538 TEL 06-911-6561
- 酒井民雄** 大垣市郭町3丁目 酒井書店  
〒503
- 菊田商店** 文京区本駒込3-8-2  
〒113 TEL 03-821-7131
- 武蔵野美術学園** 武蔵野市吉祥寺東町3-3-7  
〒180 TEL 0422-22-8171
- シロタ画廊** 中央区銀座7-10-8 高橋ビル地下1階  
〒104 TEL 03-572-7971~2
- 養清堂画廊** 中央区銀座5-5-15  
〒104 TEL 03-571-2471
- 阿部出版版画芸術** 目黒区上目黒4-30-12  
〒153 TEL03-715-2036・2046
- 日本オリビエ** 港区赤坂1-1-2 フランス銀行ビル内  
〒107 TEL 03-582-0871 (順不同)

# 文房堂の版画材料

(木版・銅版・石版)

資料をご請求下さい

東京都千代田区神田神保町1-21 TEL (03) 291-3441(代)



# サクラ版画絵具

## 株式会社 サクラクレパス

良い版材は良い地金

版画用・銅板・亜鉛板・リト用・ジंक板・アルミ板

有限会社 **萩原市蔵商店**

東京都千代田区神田紺屋町43番地  
電話 東京(256)3591番(代表)

版画科 1年修 石版・銅版・木版

## 武蔵野美術学園

武蔵野市吉祥寺東町3-3-7

石版画用ジंक研磨

版画用材料専門店 **クラタ商店**

大阪市鶴見区茨田諸口町1118  
TEL 06-911-6561



洋画・デザイン材料・額縁・石膏像・版画

株式会社 **画荘 ヴィナス**

本店 〒460 名古屋市中区新栄町3-6  
TEL <052> 961-0591(代)  
東京営業所 〒160 東京都新宿区西新宿1丁目15-13  
TEL <03> 346-2728(胖ビル内)

## 大阪フォルム画廊

本社 大阪市東区大川町27 住友生命淀屋橋ビル8階  
TEL 06-201-3041(代)

東京店 東京都中央区銀座6-3-2 ギャラリーセンタービル5階  
TEL 03-571-0833

現代版画

銀座ギャラリー

## カプセル

〒104 東京都中央区銀座8-16-10 B401  
TEL 541-4676

## 日本版画保存会

川崎市多摩区登戸3460 吉沢英哲方  
〒214 TEL. 044-911-9041

創業53周年

## 日動画廊

東京都中央区銀座7-4-12  
電話(571)2553(代表)

**ペンてる** CRAYON

水彩 (不透明水彩)

**ペンてる株式会社**



ヌーベル アーチスツ油絵具  
ヌーベル エチュード油絵具  
ヌーベル 画用液  
ヌーベル ポスターカラー  
ヌーベル ドローイングインキ  
ルフラン 油絵具  
ルフラン 画用液  
ラウニー 画筆

SAKURA COLOR PRODUCTS CORP.

東京都千代田区三越町3-1-16 フォルムビル 第一ビル5階  
〒101 TEL 東京(03) 4221(代)  
大阪府東成区中津1丁目17-7 サクラビル 第一ビル5階  
〒537 TEL 大阪(072) 124(代)

## 画 翠

東京都台東区上野公園  
芸術大学内 ☎(821)7056



## 養清堂画廊

中央区銀座5-5-15 でんわ 571-2471

## 丸の内画廊

GALLERY

〒100 千代田区丸の内3-2-3 富士ビル1F TEL 03-213-8705

<現代版画とマルチプル彫刻>

株式会社 **乃村工藝社**

マルチプル・アートセンター

東京都港区芝浦4丁目6番4号 / (03) 455-1171

版画専門メーカー



# 新日本造形(株)

東京本社 〒165

東京都中野区新井1-42-8 TEL 03-389-1221

大阪支社 〒540

大阪市東区森ノ宮中央1-6-20 TEL 06-943-1141

〈新日本造形/本社5階〉

## SNZ版画工房

- \*エッチング
- \*リトグラフ
- \*シルクスクリーン

どなたでも、自由にお使いいただける唯一の版画工房です。

●毎日AM.9:00~PM.5:00(日曜・祭日休み)

●講師指導日:毎週水・土曜の午後

※プレス機、用具他完備!!

入会金、使用料、指導料一切不要!!

## 大学版画研究会

事務局 武蔵野美術大学版画研究室

〒187 東京都小平市小川町1-736 TEL.0423-41-5011(内線301)

《編集スタッフ:池田良二/木村繁之/小林次男/園山晴己/若月公平》